

【技術分類】 2－3－2 個別空調／ドレン配管／ルームエアコンのドレン配管

【技術名称】 2－3－2－1 ルームエアコンのドレン配管

【技術内容】

ルームエアコンのドレン配管は断熱材を巻き、冷媒管と一緒に屋外に出し、外壁に沿って地上まで配管する。ドレン配管は硬質塩ビパイプ一般管 VP20（外径 26mm）を使用し、塩ビ系接着剤で接続する。接続はソケット接続とする。

ドレン配管は 1/100 以上の下り勾配で、途中に山越えやトラップを作らないようにし、立上げ配管は避ける。やむを得ず立上げる場合でも室内機下面から 500mm 以下までとする。

横走りドレン配管が長い場合は、配管がたわまない間隔で支持金具を取付ける。

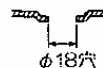
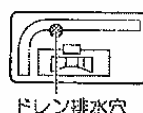
図 1 から図 4 に各メーカーの壁掛型ルームエアコンのドレン配管の施工要領を示す。また図 5 に壁埋込型と天井埋込カセット型、および床置き型室内機のドレン配管施工要領を示す。その他の天井埋込ダクト型と天袋埋込型、地袋埋込型、下り天井埋込型については、天井埋込カセット型と同様であり、省略する。

【 図 】

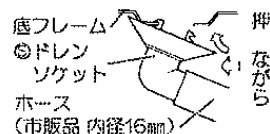
図 1 ドレン配管施工要領：ダイキン工業株式会社

1. 室外機

- ドレン排水するときは、㊟ドレンソケットを使用してください。
- 排水穴が取付台や床面などに隠れる場合は、室外ユニットの脚下に厚さ3cm以上の間座を入れてください。
- 寒冷地では、室外ユニットのドレン排水は「タレ流し」にしてください。（ドレンホースを使用すると、ドレン水が底フレーム内で凍結し、暖房効果が損なわれることがあります。）



㊟ドレンソケットの取付け



2. 室内機

左側へ付替える方法

- ①右側の断熱材取付ネジをはずしてドレンホースを抜き取ります。
- ②右側の断熱材取付ネジを元通り取付けます。
※（付け忘れると水もれの原因になります。）
- ③左側にあるドレンプラグを抜き取り、右側に取付けます。
（室内ユニットの据付け）③配管、ホース、電線の引きまわし
ドレンホース、ドレンプラグの付替えを参照してください。）
- ④ドレンホースを差し込んで、付属の㊟固定ネジで取付けます。

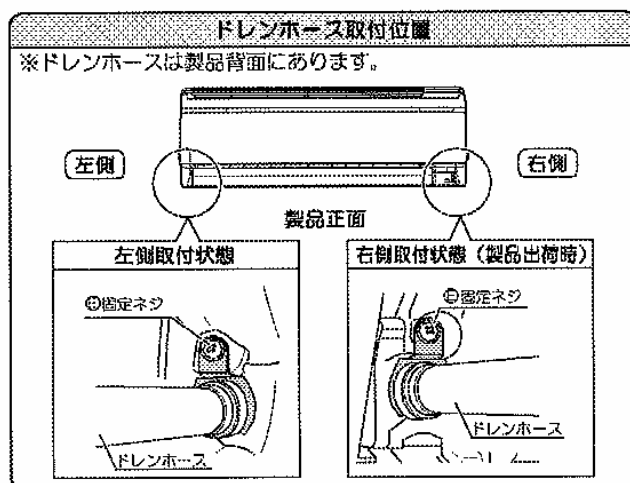
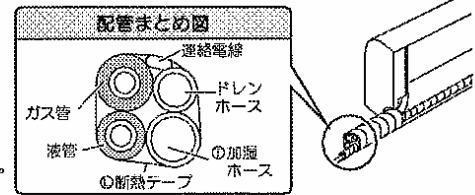


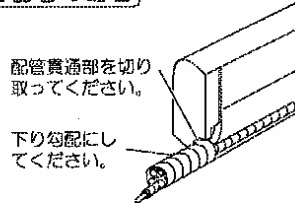
図1 ドレン配管施工要領：ダイキン工業株式会社（続き）

- 室内ユニットのダクトに①加温ホースを接続します。
（詳しくは **ポイント② 加温工事のポイント①** を参照してください。）
- 下記配管取出し方向により、配管、ドレンホース、①加温ホースの引きまわしをおこなってください。
- ドレンホースは必ず下り勾配をとってください。
- 配管、ドレンホース、①加温ホースは、④断熱テープでまとめて巻いてください。

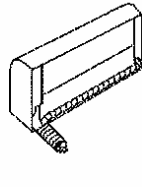


右、右後、右下配管の場合

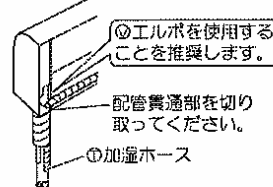
右配管の場合



右後配管の場合



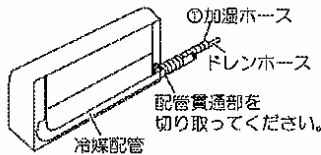
右下配管の場合



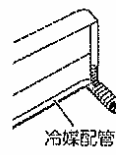
- ①配管まとめ図のように、配管、ホース、連絡電線を④断熱テープで巻きます。
- ②配管類を壁貫通穴より引き出し、室内ユニットを⑥据付板に引っかけます。
- ③配管を接続します。

左、左後、左下配管の場合

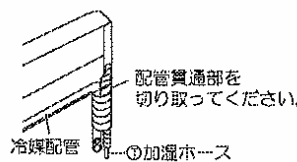
左配管の場合



左後配管の場合

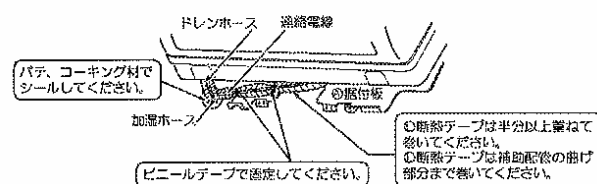


左下配管の場合



- ①ドレンプラグとドレンホースを付け替えます。
- ②冷媒配管を引き込み、据付板上に刻印されている液管、ガス管のマークに合わせて整形します。
- ③室内ユニットを⑥据付板に引っかけます。
- ④配管を接続します。作業がやりづらい場合は、前面グリルを取りはずし作業してください。
- ⑤配管の断熱材を④断熱テープで巻きます。ドレンホースを付け替えない場合、下図の位置に収納してください。

左後配管の場合



ドレンホース、ドレンプラグの付け替え

●ドレンホースの付け替え

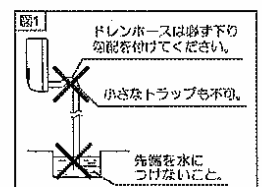
- ①ドレンプラグを抜き取り。
- ②ドレンホースを抜き、左側へ付け替えます。
- ③ドレンプラグを右側へ付け替えます。

●ドレンプラグの付け方

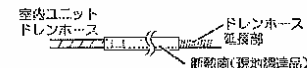
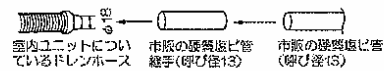
- 差し込み時、潤滑油(冷凍機油)などを塗布しないでください。擦布すると劣化し、水漏れの原因になります。
- 六角レンチ(対辺4mm)を使用して差し込んでください。

ドレン工事について

- ドレン工事は、特に〔図1〕の点に注意してください。
- ドレン管を延長する場合は、市販の延長用ドレンホースを使い、室内側にあるドレンホースの延長部は必ず断熱してください。なお、室内ユニットについているドレンホースの根元が抜けないよう、引っぱりすぎにご注意ください。



- 埋め込み配管などで、室内ユニットについているドレンホースに直接硬質塩ビ管(呼び径13)を接続される場合は、市販の硬質塩ビ管継手(呼び径13)を使用してください。



- ドレンチェックは、エアフィルターをはずし、水を熱交換器に伝わらせてドレンパンにそそぎこみ、ドレンホースから水が流れ出ることを確認してください。



▲注意

換気せんなどを使用した場合ドレンホースから異音(ポコポコ音)が発生することがあります。その場合は別売品のエアカットドレンプラグを使用してください。

図2 ドレン配管施工要領：三菱電機株式会社

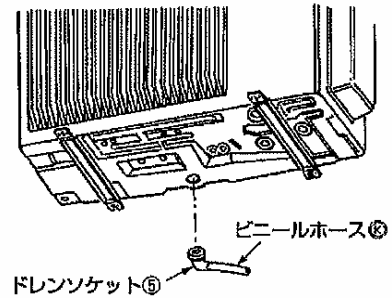
1. 室外機

〈ドレン処理について〉

- ・室内外の配管接続より先にドレン処理してください。（室内外の配管接続後に行くと、室外ユニットが動かなくなり、ドレンソケット⑥が取付けにくくなります。）
- ・市販の内径15mmのビニールホース④を図の位置に接続してドレン水を導いてください。
- ・ドレン配管はドレン水が流れやすいように必ず下りこう配をつけて配管してください。

寒冷地における注意事項

寒冷地では、ドレン水が凍結し、ファンが回らなくなるおそれがありますので、ドレンソケット⑥は取付けないでください。

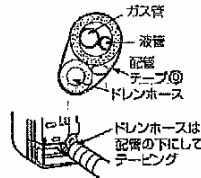


2. 室内機

後・右・下配管の場合

2) 配管の引出し 配管のまとめ

- 冷媒配管、ドレンホースをまとめて配管テープ⑨でテーピングします。配管テープ⑨を根元近くからしっかりと巻いてください。
- ドレンホースが持ち上がらないように注意してください。ドレンホースは抜けるおそれがありますので、強く引張らないでください。



3) 室内ユニットの据付け

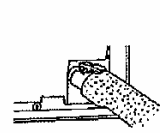
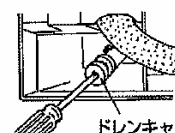
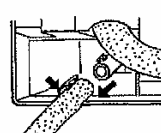
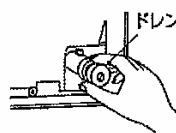
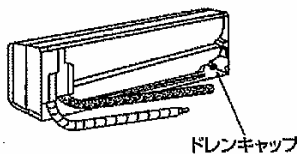
- ① 配管とドレンホースを壁穴用スリーブ⑤に挿入しながら、据付板①に室内ユニット上部を引掛けます。
- ② 室内ユニットを左右に動かし、確実に引掛かっていることを確かめます。
- ③ 室内ユニット下部を据付板①に押込んで固定します。

左・左後・左下配管の場合

(1) ドレンホースのつけかえ方法

左、左後、左下配管の場合は必ずドレンホースおよびドレンキャップのつけかえを行ってください。つけ忘れおよびつけかえない場合は露たれの原因になります。

- ① ドレンキャップを抜きとる
先端の凸部をつまんで抜きとる。
- ② ドレンホースを抜きとる
ツメの矢印をつまみ、ドレンホースを手前に抜いてください。
- ③ ドレンキャップを差込む
先端の穴にドライバーなど差込んで、ドレンパンのつけねまで確実に差込んでください。
- ④ ドレンホースを差込む
ドレンホースをドレンパンの根元まで挿入して、ドレンホースのツメがドレンパンの突起に確実に引掛っていることを確認してください。



室内側ドレン配管

- ドレン配管はドレンが流れやすいように、必ず下りこう配をつけて配管してください。（図1）
図2～図5のようなドレン配管は絶対にしないでください。

- ドレンホースが短い場合は、図6の方法で配管してください。壁埋込み配管の場合は、図7の方法で配管してください。

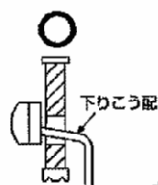
- 高層住宅など、高所に据付けの場合、強風によるドレンホース内の逆流により室内ユニットからの水漏れがおきる場合があります。対応部品を用意しておりますので必要な場合には最寄りの「三菱電機システムサービス」にお問合わせください。

- ドレンホースが室内を通る場合は必ず市販の断熱材を巻いてください。

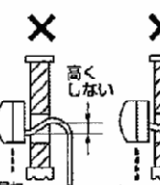
- 壁埋込み配管などで、ドレンホースの接続を行う場合は、室内ユニット左右下のコーナー部品を外して行ってください。

- ドレン配管を、アンモニアガス・イオウ系ガスの発生する下水槽や浄化槽などに直接入れないでください。

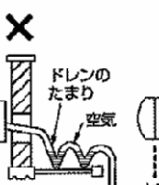
- ドレンホース途中にたるみがあったり、ホース先端が持ち上がったりしていると、ホース内にドレン水が溜り、強風の場合、あるいは高気密住宅でレンジフードなど（換気扇）を使用した場合、ドレン水がスムーズに流れず、異音（ポコポコ）が発生する場合があります。異音の対応部品は、「ドレンエア逆流防止部品」（別売部品MAC-850GB）をご使用ください。



(図1)



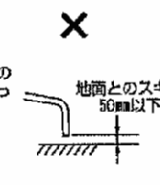
(図2)



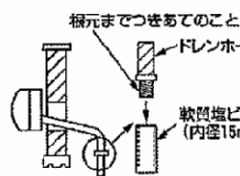
(図3)



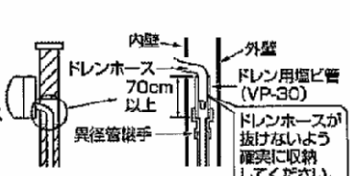
(図4)



(図5)

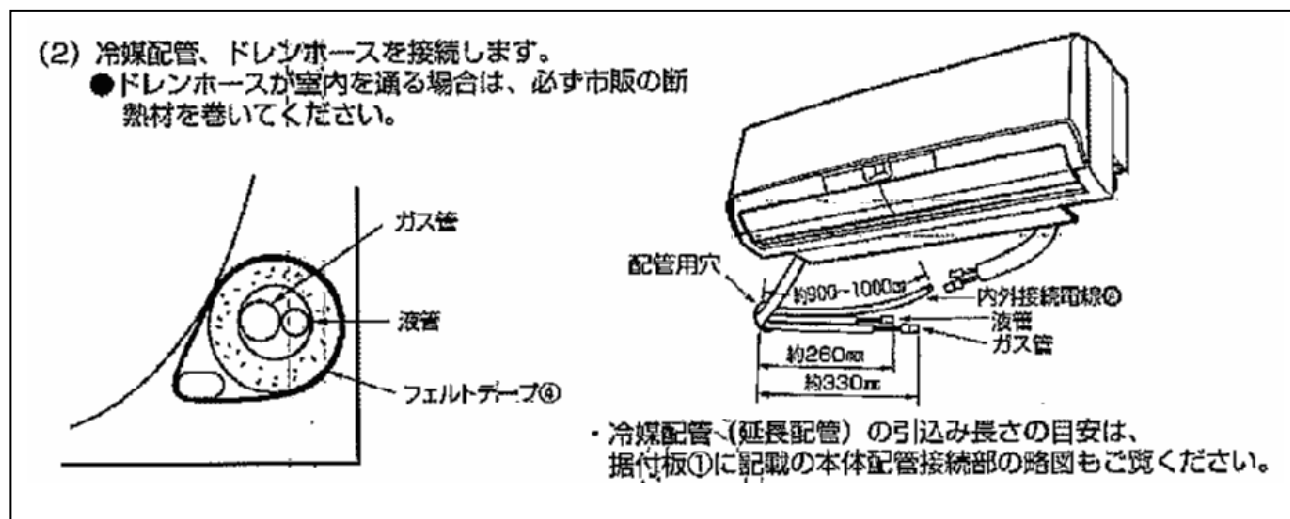


(図6)



(図7)

図2 ドレン配管施工要領：三菱電機株式会社（続き）

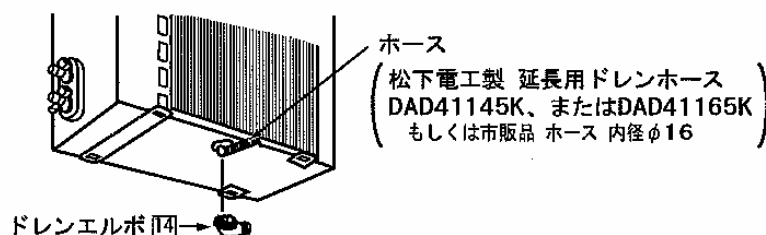


出典：三菱ルームエアコン据付工事説明書、SG79Y672H01、2005年12月、三菱電機株式会社発行、
 6頁 室外側ドレン配管、4頁 室内ユニットの据付け、5頁 室内ユニットの据付け（つづき）

図3 ドレン配管施工要領：松下電器産業株式会社

1. 室外機

ドレンエルボを使用する場合は、3cm以上の台を使用します。
 寒冷地（0℃以下の気温が2～3日連続する地域）では、
 ドレン水が凍結するおそれがあるため、ドレンエルボは
 取り付けないでください。
 塩害地等や砂ぼこり等が多い場所では、ドレンエルボが
 つまるおそれがあるため、取り付けないでください。
 ホースは下り勾配にし、波うちなどないように引き回します。



2. 室内機

■ 右後配管の場合（右、右下配管の場合もこれに準じます。）
 ただし、内外接続電線の接続後、
 室内ユニットの固定を行います。

（1）配管の引き出し

- ① 配管穴ふたは、下、右あるいは左配管時、金ノコ等で切りとります。
- ② 右図のように配管、ドレンホース、換気ホース、酸素用チューブを
 テーピングします。

● ドレン工事は、確実に排水するよう配管してください。

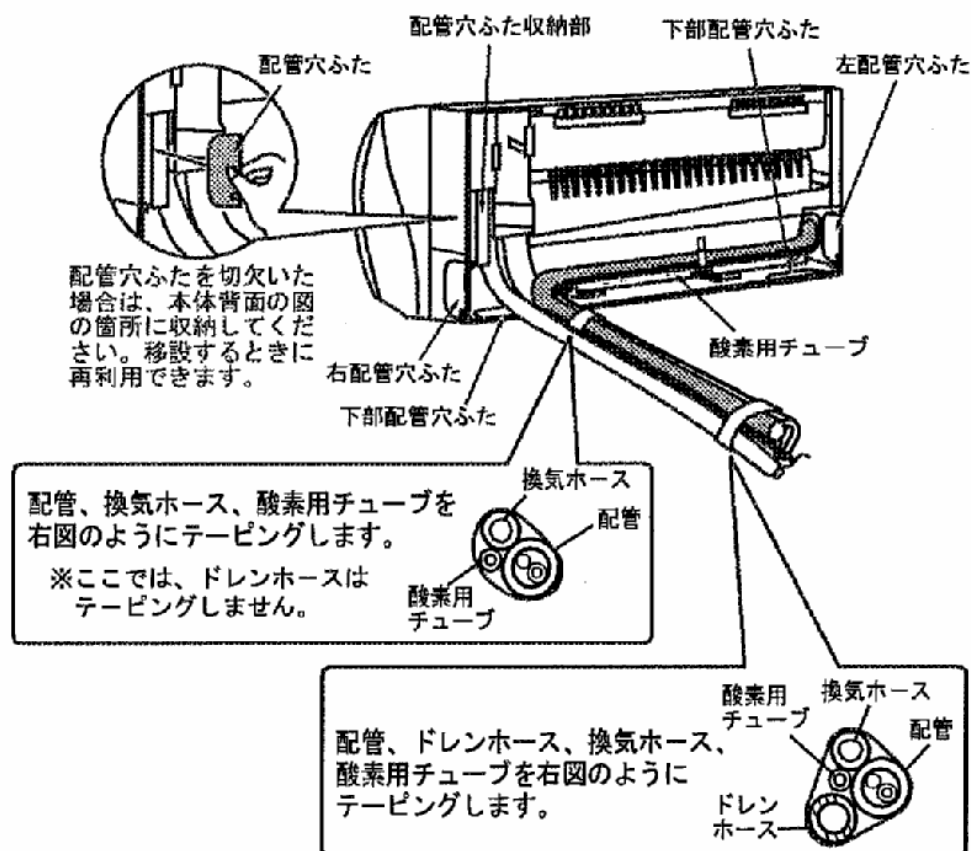


図3 ドレン配管施工要領：松下電器産業株式会社（続き）

■ 埋込配管の場合

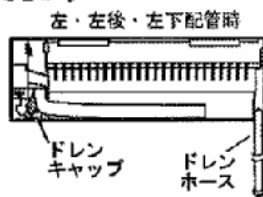
（左、左後、左下配管の場合もこれに準じます。）

（１）ドレンホース付け替え

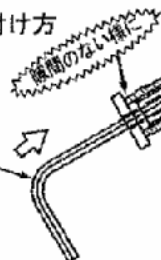
- ドレンホースは必ず左へ付け替えてください。

付け替えないと、水漏れや異常音の原因になることがあります。

- ドレンホースは必ず断熱材付きのものを使用します。
- ドレンキャップの付け方



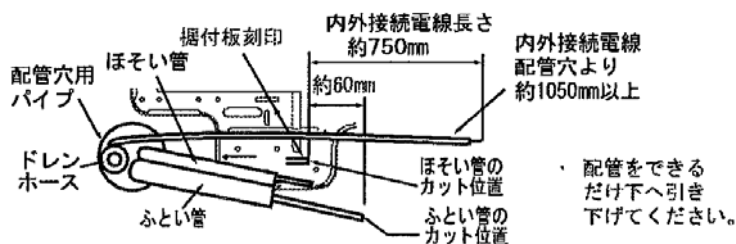
六角レンチ（対辺4mm）を使用して差し込んでください。



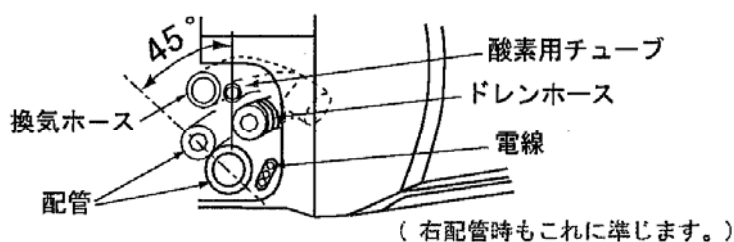
差し込み時、潤滑油（冷凍機油）などを塗布しないでください。塗布すると劣化し、水漏れの原因になります。

- ドレン水処理用の埋込塩ビ管は厚み6mm以上の発泡ポリエチレン等で断熱します。
- ドレン工事は、確実に排水するよう配管してください。

左配管時の配管・電線のカット要領

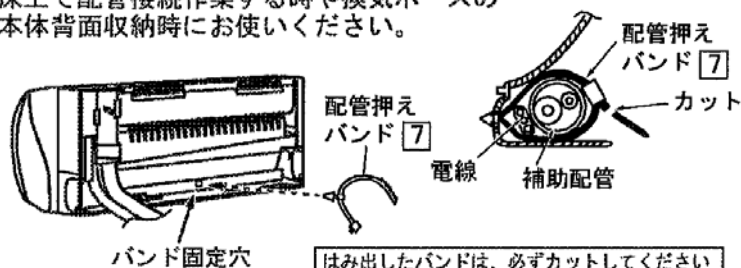


左配管時の電線・ドレン収納要領



配管押えバンドの取付

床上で配管接続作業する時や換気ホースの本体背面収納時にお使いください。



はみ出したバンドは、必ずカットしてください（異常音、水漏れ等の原因になります。）

出典：ナショナル ルームエアコン 据付工事説明書、F612879、2006 年 4 月、松下電器産業株式会社発行、10 頁 室外ユニットのドレン水処理について、7 頁 室内ユニットの据え付け、8 頁 埋込配管の場合

図 4 ドレン配管施工要領：株式会社東芝

1. 室外機

室外機底板には、暖房運転時の除霜水を効率よく排水させるために穴があいています。

ベランダ置きや壁面据え付け時など集中排水が必要な場合は、下記手順に従って排水処理を行ってください。

【25～71タイプ】

1. 底板下面にある2個の長穴に防水ゴムキャップ(⑧)を取り付け、防水処理を行います。

『防水ゴムキャップの取付方法』

- (1) 防水ゴムキャップに4本の指を入れ、底板下側から排水穴に押し込んで挿入します。
- (2) 外周部を押し、確実に挿入してください。

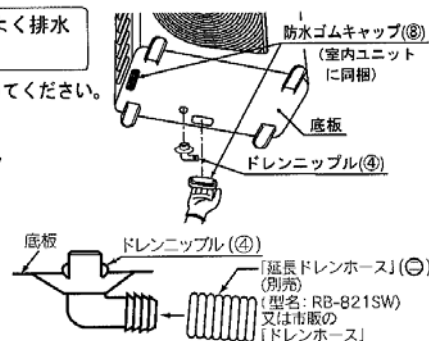
(不完全挿入、外周部のめくれ、挟み込みは水漏れの原因になります)

【22～71タイプ共通】

2. ドレンニップル(④)と、別売の「延長ドレンホース」または、市販の「ドレンホース」(内径16mm)を取り付け、排水処理を行います。

(ドレンニップル(④)の取り付け位置は、室内外ユニット据付図参照。)

- 室外ユニットは水平であることを確認し、接続のドレンホースは“たるみ”がないよう下り勾配にします。



お願い

市販の「ビニールホース」はつぶれて排水できない恐れがあるので使用しないでください。

2. 室内機

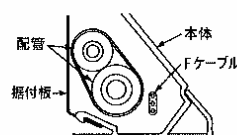
後取り・右取り・下取り

配管(2本)・Fケーブル・ドレンホース・排気ホースをふくらみのないよう化粧テープでしっかり巻いてください。

- 排気ホースには、壁貫通部の途中から化粧テープを巻かないようにしてください。
- 壁貫通部まで化粧テープを巻いたら一旦化粧テープを切断し、ビニールテープで固定します。
- 排気ホースが露出している部分とフレアナット部に、保護のために化粧テープを巻きます。
- 壁通し後は、保護用の化粧テープをはずしてください。

お願い

- 右取り、左取り、左下取り、および左後取り配管の場合は、まず配管接続部を膨らみのないよう化粧テープでしっかり巻いてください。次に接続配管、ドレンホース、排気ホースを化粧テープでしっかり巻いてください。
- 配管は、室内ユニット背面より出っ張らないこと。
- 補助配管と接続配管の接続部分は断熱材が重ならないよう接続配管側の断熱材を切り取り接続部分をビニールテープなどでシールする。
- 補助配管のスリットは確実にシールすること。
- 配管を曲げるときは、配管をつぶさないように注意してください。
- 補助配管の接続口に取り付けてあるナイロンキャップは再使用しないでください。



2. 室内機（続き）

左後取り・左取り・左下取り

〈据え付け準備〉

ドレンホースとドレンキャップを付け替えます。

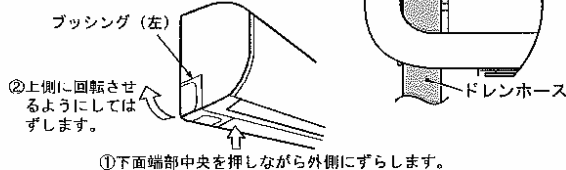


(1) ドレンホースの取りはずし

- ドレンホースはねじ固定方式となっていますので、ねじをはずしてからドレンホースを取りはずします。

(2) ドレンキャップ引き抜き

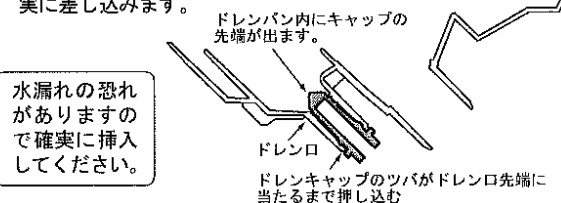
- ブッシング（左）をはずします。



- ドレンキャップはラジオペンチなどで挟んで引き抜きます。

(3) ドレンキャップ差し込み

- 4mmの六角レンチ（室外ユニットエアパージ用）を中央穴に差し込み、ドレンキャップがドレン口先端に当たるまで確実に差し込みます。



(4) ドレンホースの取り付け

- ドレンホースの接続部分が断熱材に当たるまで確実に差し込み、最初に本体と固定していたねじで固定します。

最初に本体と固定していたねじ以外を使用すると、水漏れを起こす原因となります。

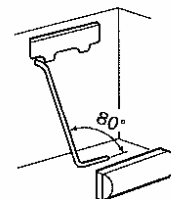
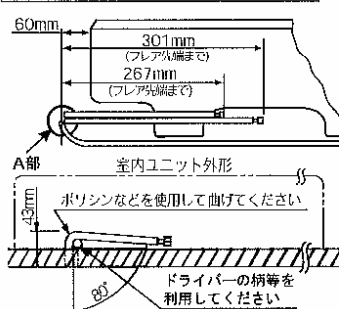
(5) ブッシング切り欠き

- スリット部分を切り取ります。
(スリット部をナイフなどで、けがいてから切り取る)

接続してから据え付け

接続配管は壁穴や補助配管に合わせて成形します。

据え付けてから接続



ポリシンを使用する場合は削り粉が入らないよう必ずフレア加工を行った後に挿入してください。

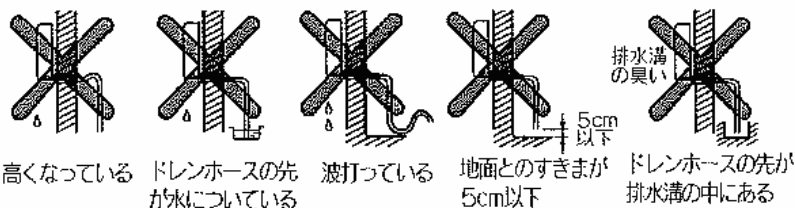
〈A部詳細〉

配管などを左側によせる
液側 ガス側
排水ホース ドレンホース
※ガス側を下にすると、よりきれいに仕上げるができます。

●ポリシンのコード番号

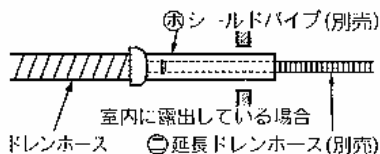
- ・接続配管が9.52mm（外径）の場合 90000328
- ・接続配管が12.7mm（外径）の場合 90000327

- ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。
- 次のようなドレン排水は行わないでください。



- 熱交換器の下にドレンパンに水を注ぎ、室外へ排水されることを確認してください。

- 延長ドレンホースが室内にある場合は必ず㊦ シールドパイプを使用して断熱してください。



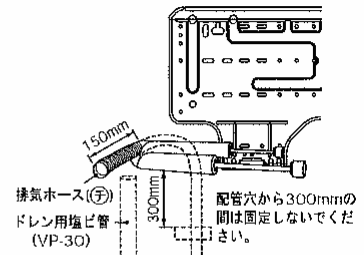
- 気密性の高い部屋で換気扇を使用したときなどに、排水管付近からポコポコと音が発生する場合があります。
対応部品として「エアーカットバルブ：RB-CV11」㊩がありますので、必要に応じて取り付けてください。

図 4 ドレン配管施工要領：株式会社東芝（続き）

＜埋込配管を新設する場合＞

埋設時の排気流路の工事は次のように行ってください。

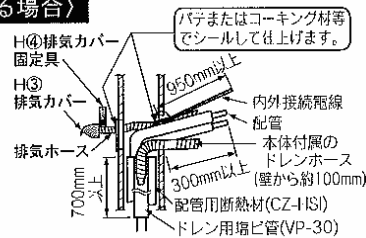
排気流路	塩ビ管を使用しないでください。
使用する別売部品	RB-C509L (㊦) 排気ホースφ28×5000+ホース接続口
工事方法	室内壁面 埋設用排気ホースは室内壁面より150mm程度出してください。
	室外壁面 排気出口は極力雨や風が吹き付けない場所に設置します。 排気ホースは室外壁面より100mm程度出してください。
	セット据付 ①別売付属品に同梱のホース接続口を、セットの排気ニップルにホース固定具（H㉒）とねじ（H㉓）で取り付けます。 ②室内壁面から出ている排気ホースをホース接続口にねじ込みます。 ③排気出口にセットに同梱の排気カバー（H㉑）を水平に取り付けます。
ホースの接続	ホースの継ぎ目はビニールテープでシールしてください。



※配管を接続後、ドレンホースを壁面のドレン用塩ビ管へ挿入します。ドレンホースは先端のカフス部をカットし、先端の断熱材を50mm程度剥いておくと、作業がやり易くなります。

＜既設の埋込配管を使用する場合＞

外壁に穴が開けられる場合
φ38～φ40の穴を外壁に開け、排気ホースを室外に出し、排気カバーを取り付けてください。排気口を外壁に固定し、パテやコーキングで防水処理を行ってください。



外壁に穴が開けられない場合

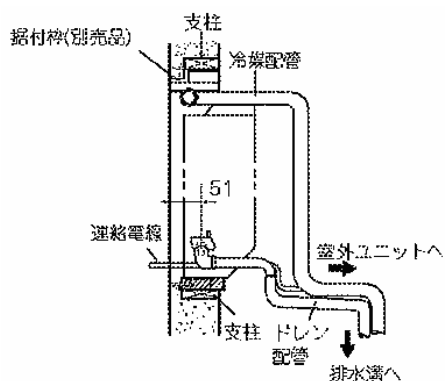
この場合は換気運転・ホコリ排出を行うことはできません。リモコンの「メニュー」ボタンを押して下表のように設定を変更してください。

メニュー項目	設定内容	動作変更内容
クリーニング	しずか	クリーニング運転時、換気を行いません
ホコリ排出	なし	クリーニング運転時、ホコリを室外に排出しないで、ダストボックス内に溜めます。定期的にお手入れが必要になります。

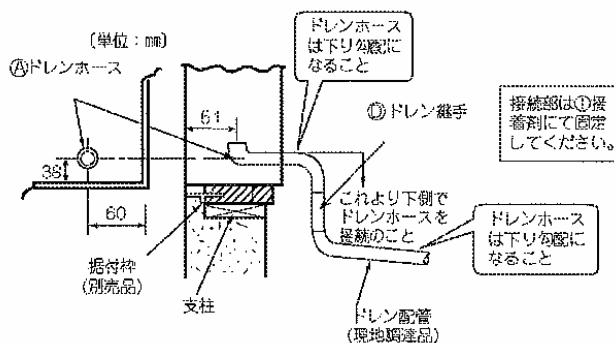
出典：東芝ルームエアコン据付説明書 GDR/GADR シリーズ、EG36350101-③、東芝キャリア株式会社発行、2 頁 ドレン排水、1 頁 配管・ドレンホースの成形、室内ユニットの取付

図5 各型式室内機のドレン配管施工要領：ダイキン工業株式会社

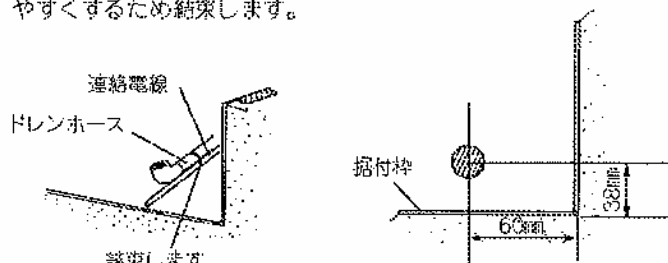
1. 壁埋込型



- ドレン配管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP20(外径26mm、内径20mm)を使用してください。
- ドレン配管はドレンが途中で溜らずにスムーズに流れるよう「下り勾配」を付けてください。(トラップなどができぬこと。)
- 室内ユニットにドレンホース(接続口外径18mm長さ250mm)を付属していますので右図位置までドレン配管を準備してください。ドレンホースとドレン管の接続は付属のドレン継手を使用してください。
- 屋内部のドレン配管は結露防止の為、肉厚10mm以上の断熱材で断熱してください。
- 配管工事終了後、ドレン排水がスムーズにできるか確認した後、テープなどで密封してゴミの侵入防止をしてください。



- ドレンホースの準備
 - ①室内ユニット取付け時、連絡電線、ドレンホースなどが、室内ユニットの貫通部に入りやすくするため結束します。
 - ②連絡電線、ドレンホースなど結束したものが斜線部にくるようセッティングします。



ドレンホースの接続

- ①電箱下のスペースより手を入れます。
- ②④ ドレンホースをドレンパンの接続口に差しこみます。
 - ④ドレンホースはドレン口のシール材に密着するまで差しこんでください。

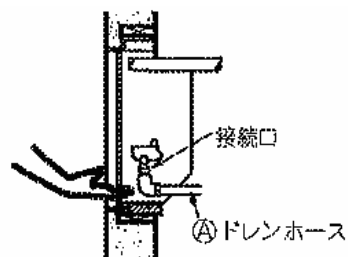
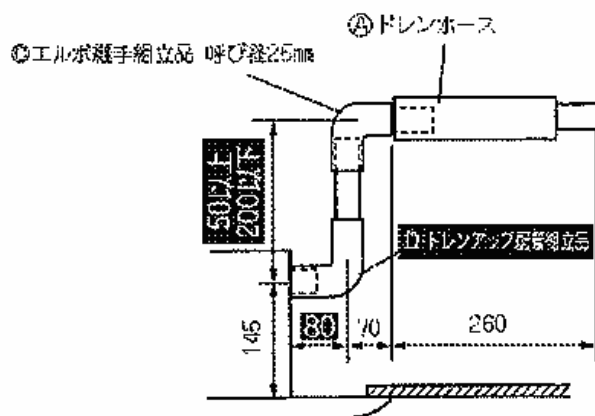


図5 各型式室内機のドレン配管施工要領：ダイキン工業株式会社（続き）

2. 天井埋込カセット型

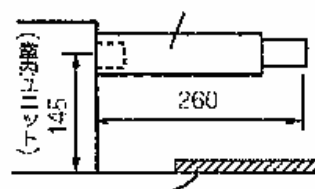
ドレン配管位置

ドレンアップする場合



ドレンアップできない場合

④ ドレンホース



ドレンアップする場合に比べてドレンポンプの音が少し大きくなる場合があります。

ドレンポンプの音の低減のため50mm以上のドレンアップをしてください。

注意

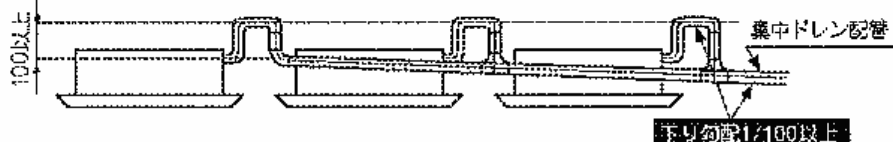
付属部品を使用してください。

天井開口

- 据付場所選定後、配管引出し方向を決定し、据付用開口穴をあけてください。
(室内ユニットの位置決め、天井開口寸法は、①据付用型紙を利用されると便利です。)
- 天井開口穴をあけたのち、天井の水平度を保ち、天井の振動を防ぐために、天井吊組等の補強が必要な場合があります。くわしくは建築・内装業者とご相談ください。
- 天井が既設の場合は、本体を吊り下げる前に、配管、配線接続位置まで、冷媒配管、ドレン配管、室内外連絡電線を施工しておいてください。

ドレン配管の設置

- ドレン工事は確実に排水するように配管してください。
- 配管は短く、下り勾配をつけ、空気だまりのないようにしてください。
- ドレン配管の先端を水につけないようにしてください。
- ドレン配管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25(外径32mm)を使用してください。
- ドレン出口が水平になるように支持金具等で支持してください。
- 屋内部のドレン配管は結露防止の為、肉厚10mm以上の断熱材で断熱してください。
- 集中ドレン配管を行う場合は次の要領で行ってください。



集中ドレン配管へは上方向から配管を接続してください。
(横方向から接続すると、流路抵抗が大きくなり、ドレンポンプの音が大きくなる場合があります。)

- 集中ドレン配管は、VP25以上にしてください。

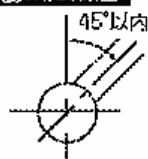
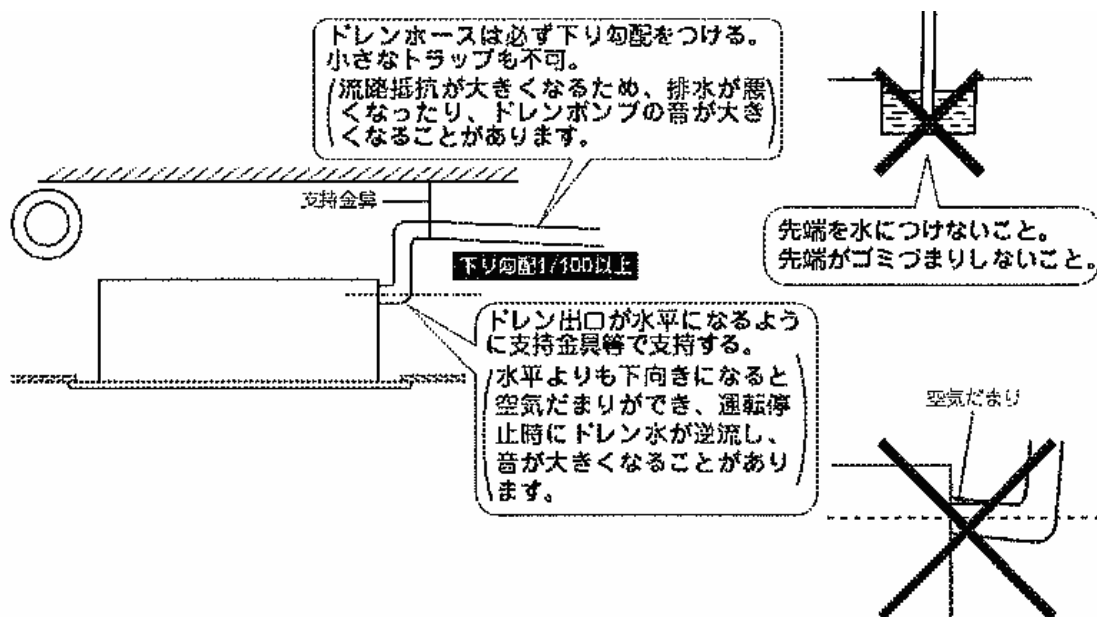


図5 各型式室内機のドレン配管施工要領：ダイキン工業株式会社（続き）

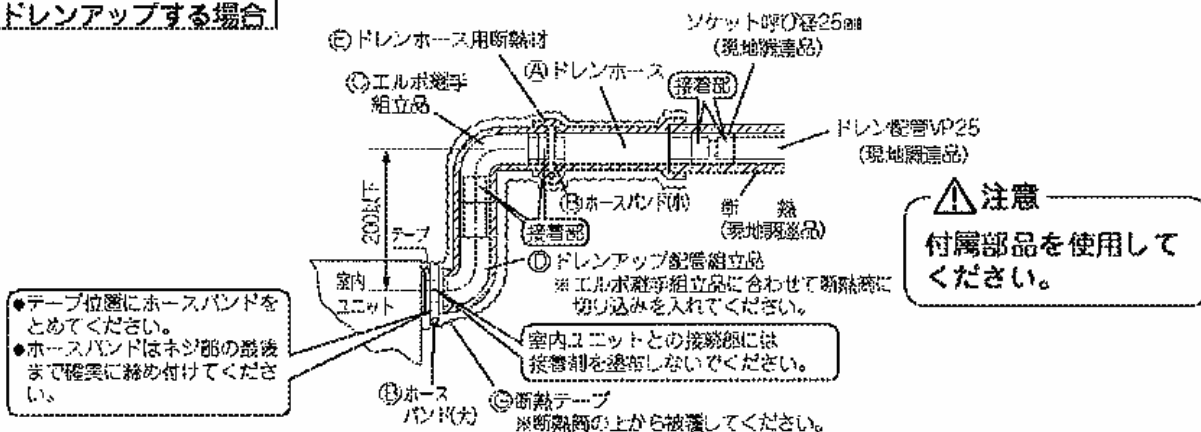
2. 天井埋込カセット型（続き）



室内ユニットとの接続部

- 接続部には接着剤を流し込んで、完全に乾かしてください。

ドレンアップする場合



ドレンアップできない場合

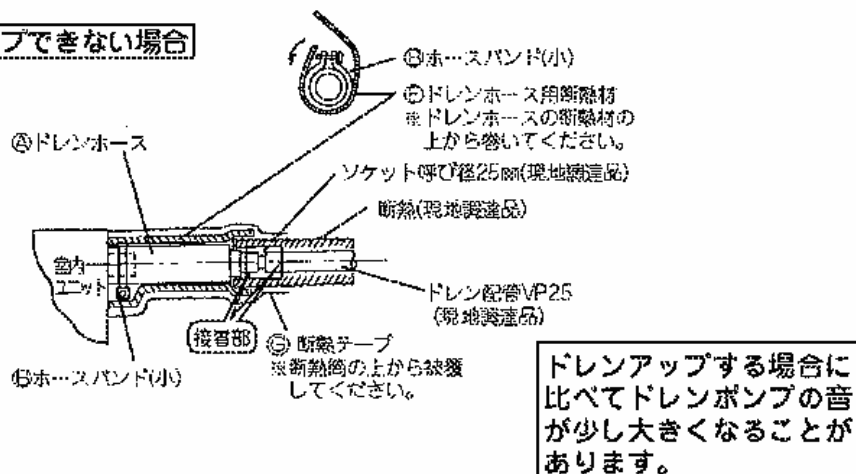


図 5 各型式室内機のドレン配管施工要領：ダイキン工業株式会社（続き）

2. 天井埋込カセット型(続き)

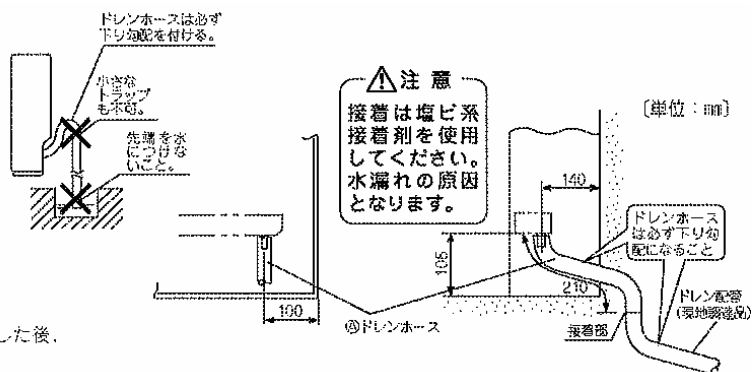
△注意

- 接着部は塩ビ系接着剤にて漏れのないように接着してください。
- 接着後にドレン配管の調整をする場合は、接着剤が完全に乾いてから行ってください。
- 室内ユニットとの接続部の断熱は **5** 室内ユニットの据付け後、行ってください。
- ホースバンドは必ず使用して、しっかりと締めつけてください。
- 根元まで確実に断熱してください。
(断熱が不完全な場合、結露水が滴下することがあります。)

3. 床置型

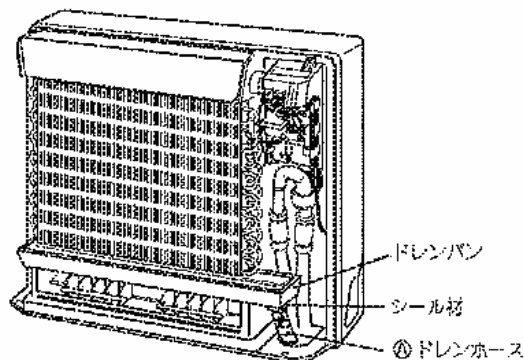
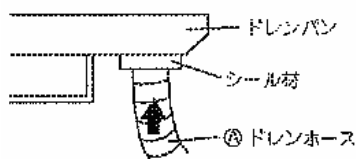
2 | ドレン配管工事

- ドレン配管工事は、特に右図の点に注意してください。
- ドレン配管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP20 (外径26mm、内径20mm)を使用してください。
- 室内ユニットにドレンホース(接続口外径19mm長さ210mm)を付属していますので右図位置までドレン配管を準備してください。
- 屋内部のドレン配管は結露防止の為、肉厚10mm以上の断熱材で断熱してください。
- 配管工事終了後、ドレン排水がスムーズにできるか確認した後、テープなどで密封してゴミの侵入防止をしてください。



8 | ドレンホースの接続

- ① ① ドレンホースをドレンパンの接続口に差し込みます。
- ② ドレンホースは接続口のシール材に密着するまで差し込んでください。



出典：2006 ダイキン技術ガイド ルームエアコン <システムマルチ> (CD)、2006年4月、ダイキン工業株式会社発行、130-132頁 据付説明図、135-140頁 据付説明図、109-110頁 据付説明図

【出典／参考資料】

- ・2006 ダイキン技術ガイド ルームエアコン <壁掛形> (CD)、2006 年 4 月、ダイキン工業株式会社発行、105－106、108 頁
- ・2006 ダイキン技術ガイド ルームエアコン <システムマルチ> (CD)、2006 年 4 月、ダイキン工業株式会社発行、130－132 頁、135－140 頁、109-110 頁
- ・三菱ルームエアコン据付工事説明書、SG79Y672H01、2005 年 12 月、三菱電機株式会社発行、6 頁 室外側ドレン配管、4－5 頁
- ・ナショナル ルームエアコン 据付工事説明書、F612879、2006 年 4 月、松下電器産業株式会社発行、1－13 頁
- ・東芝ルームエアコン据付説明書 GDR/GADR シリーズ、EG36350101-③、東芝キャリア株式会社発行
- ・三菱重工業株式会社ホームページ、冷熱事業本部、技術資料 (ID、パスワード入力)、検索条件 (製品群: 住宅用エアコン、製品シリーズ: 壁掛形標準 (SRK)、製品タイプ: 冷暖房兼用形)、SRK229AV 据付関連事項、三菱重工業株式会社、検索日 2006 年 12 月 12 日、<http://mhins.mhi.co.jp/techdoc/index.php>
- ・佐藤政次、わかる小型エアコンの取扱いと修理、株式会社オーム社発行、2003 年 6 月 15 日、68－73 頁